

年に1回、自分のカラダの総点検！

特定健診・がん検診を受けよう

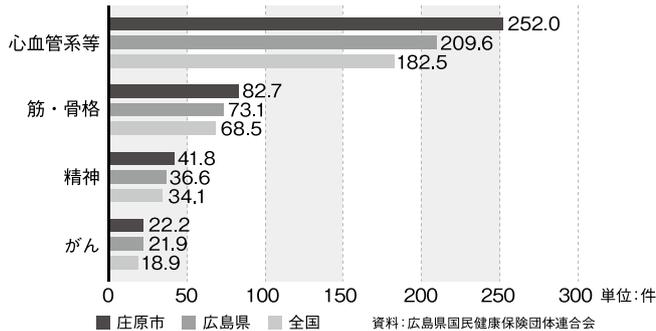


保健医療課 主任主事

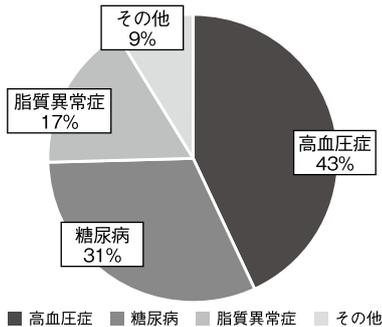
岩木 孝憲

皆さんは、庄原市でどのような病気や症状で病院を受診している人が多いか、知っていますか。平成27年度庄原市国保の被保険者千人当たり外来のレセプト件数では、心血管系等が最も多く、全国、広島県を大きく上回っています。(図1)この内訳を見ると、高血圧症、糖尿病、脂質異常症の3つで9割以上を占めます。また、血圧、血糖、脂質異常の所見を併せ持つ人の数が県内最多の状況です。(図2)

(図1)被保険者千人当たりレセプト件数(外来・H27年度)



(図2) 心血管系等の内訳



高血圧や高血糖、脂質異常は、動脈硬化を進行させたり、血管を詰まりやすくさせたりし、心筋梗塞などの心疾患や、脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患を発症するリスクを高めます。しかし、このような深刻な病気になるまでは自覚症状がないことが多く、放置してしまいがちです。こういったリスクに早期に気付くための健診が特定健診です。

また、庄原市の死因の第1位はがんです。がんは早期に発見するほど、治療後の生存率は高くなりますが、早期がんの時点では自覚症状がないことが多いです。がんが治療しやすい早期がんの時期は1年〜数年といわれているので、特定健診と一緒にがん検診も毎年受けて、早期発見することが大切です。

特定健診・がん検診を受けるメリット

①病気の芽に気付く

健診は、自覚症状がないうちに異常を見つけることができます。また、毎年受ければ以前の結果と比較ができるので、変化が分かり、いち早く異常に気付くことができます。

②病気を防げる・重症化させない

自覚症状がないちょっとした異常でも、異常が続けば、命に関わる深刻な病気を引き起こしやすくなります。健診結果を基に生活習慣を改善したり、治療したりすることで、心疾患や脳血管疾患などの深刻な病気を予防することができます。

健診を受けるには

市の「健診のご案内」(ピンク色の冊子)を、4月上旬に各世帯に郵送します。また、庄原市国保の特定健診対象者には、個別に案内を郵送します。

①申し込む

申込書を保健医療課または各支所担当窓口へ提出
申込期限は4月19日(木)

②受診する

保険証や送付された受診票などを持って受診

③結果を受け取る

各項目の健診結果とメタボリックシンドロームの判定結果などが通知される

※会社などに勤めている人やその家族で、健康保険組合、協会けんぽ、共済組合などの医療保険に加入している方の特定健診については勤務先や保険者にお問い合わせください。

集団健診でのがん検診については、庄原市民で対象年齢であればどなたでも受診することができます。対象年齢や費用などの詳細については、「健診のご案内」で確認し、申込書を提出してください。また、年齢が20歳の女性には子宮がん、40歳の女性には乳がん検診の無料クーポン券を5月下旬に配布する予定です。

今月の「健康標語」入選作品
(健康標語は高血圧予防と糖尿病予防のための標語です)

入賞 「ちょっとまて 塩のかけすぎ 要注意」

いちかわ 市川 ひなた 日向

